



取締役 代表執行役
CEO(最高経営責任者)

鵜飼 英一

ステークホルダーの皆さまへ

当社グループは、1918年の創業以来、「新しい技術の創造と新商品の開発を通じて国際社会に貢献する」という企業理念のもと、進化し続けています。創業当初から今日に至るまで受け継がれてきた「開拓者精神」をもとに挑戦を続け、「共存共栄精神」により社会とともに発展してきました。

私たちの主力商品であるベアリング(軸受)やドライブシャフトは、皆さまの目に触れることは少ない部品ですが、自動車や鉄道車両、航空宇宙などあらゆる産業の回転を支えています。摩擦を減らし、エネルギーロスを極限まで低減する技術は、産業の発展に寄与するとともに、環境負荷の抑制を通じて地球環境に貢献し続けています。今後もNTNの技術やサービスを磨き続けることで、社会課題の解決につながる価値を提供し、持続可能な「なめらかな社会」の実現と中長期的な企業価値の向上を目指します。

統合報告書「NTNレポート2026」は、次期中期経営計画の布石となる報告書として、2024年度からスタートした3年間の中期経営計画のこれまでの成果、直面する課題や今後の成長に向けた過程をお伝えしています。統合報告書で語るストーリーを補完するサステナビリティ詳細情報は、当社Webサイトで開示し、統合的に当社グループの現在地と目指す姿を示しています。

「なめらかな社会」の実現に向けた全体像

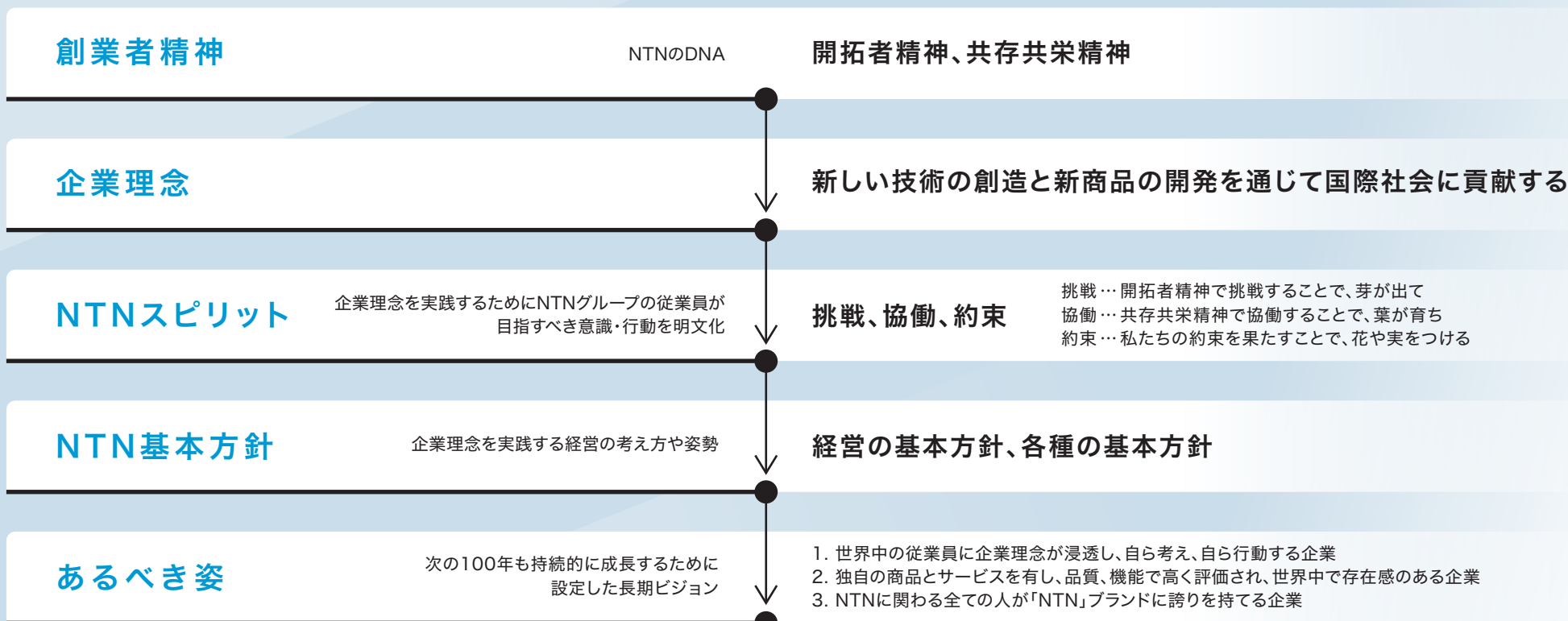
NTNが目指しているのは持続可能な「なめらかな社会」の実現です。

1918年の創業当初から大切にしてきた、挑戦し続ける「開拓者精神」と、社会とともに発展する「共存共栄精神」は、現在まで受け継がれ、NTNのDNAとして企業理念に込められています。

これらの創業者精神や企業理念をはじめ、「NTNスピリット」や「経営の基本方針」、「NTNのあるべき姿」などを通じて、持続可能な「なめらかな社会」の実現を目指します。

WEBサイトの関連情報

企業理念と
「なめらかな社会」の実現



「なめらかな社会」の実現

「なめらかな社会」とは、人と自然が調和し、人々が安心して豊かに暮らせる社会を意味しています。

キーワードで読み解くNTNの歴史

NTNは1918年の創業以来、「開拓者精神」と「共存共栄精神」を大切に、それをDNAとして企業理念に込め、受け継いできました。品質第一主義と高い技術力を基盤に信頼を築きながら、100年以上にわたり発展してきた当社は、これからも新しい技術の創造と新商品の開発を通じて国際社会に貢献し、「なめらかな社会」の実現を目指します。ここでは、当社の100年を超える歴史を3つのキーワードで振り返ります。

WEBサイトの関連情報

NTNグループの歴史

技術者の挑戦ストーリー
THE CHALLENGE



NTNの創業

1918年、若き技術者の西園二郎は三重県桑名に西園鉄工所を設立し、一方、大阪では丹羽昇が巴商会という機械工具商を経営していました。1922年、日本で沈没したスウェーデン船の積荷だったベアリングを巴商会が全量落札し、西園鉄工所に再生を依頼します。このベアリングの販売利益で研磨機を購入し、本格的なベアリング製造を開始しました。製造開始当初から丹羽(N)、巴(T)商会、西園(N)の頭文字をとったNTNのマークを使用していました。1927年、大阪市西区に資本金5万円で「合資会社エヌチーエヌ製作所」を設立し、1937年には社名を「東洋ベアリング製造株式会社」に変更して株式を公開しました。



丹羽昇



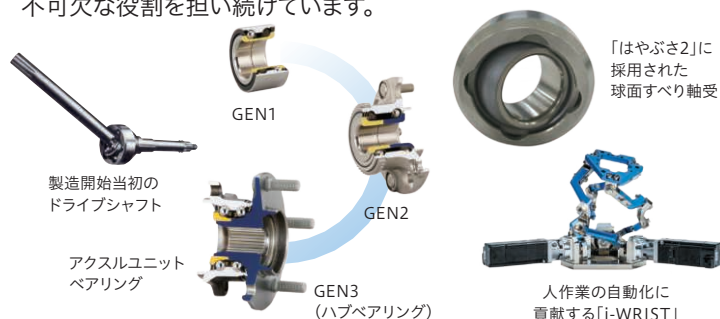
西園二郎



当時のベアリング

キーワード 1 独創的技術

1918年の創業以来磨き続けてきた独自の技術力によって、常に社会のニーズを先取りする革新的な商品を生み出してきました。1963年に開始したドライブシャフト(CVJ:等速ジョイント)の製造をはじめ、世界トップクラスのシェアを誇るアクスルユニットベアリング(GEN1～GEN3)の実用化と高度化をリードし、自動車産業の発展を支えてきました。自動車以外の分野でも、1986年の航空・宇宙軸受専門工場の建設や、2014年の小惑星探査機「はやぶさ2」への球面すべり軸受の提供により過酷な環境に挑むほか、2012年にドライブシャフト技術を活用した独自機構として手首関節モジュール「i-WRIST」を新たに開発し、人作業の自動化に貢献するなど、独創的な技術は、幅広い領域で不可欠な役割を担い続けています。



キーワード 2 品質

創業当初から貫かれている「品質第一主義」は、確かな信頼と実績を積み重ねるための重要な基盤となっています。1954年には日本の機械工業界で初めてデミング賞^{※1}を受賞し、全社的な品質管理体制が高く評価されました。1964年に採用された初代0系新幹線の車軸用軸受において「トライボロジー遺産^{※2}」に認定されたほか、現在は日本で唯一、世界4大ジェットエンジンメーカーから主軸用ベアリングのサプライヤー認証を取得するなど、その技術と品質は多方面で認められています。1万分の1ミリ単位の精度を求める緻密なものづくりは、あらゆる機械の安全性向上に寄与しています。



※1 デミング賞:戦後の日本に統計的品質管理を普及し日本製品の品質を世界水準に押し上げる礎を築いた米国デミング博士の功績を記念して、日本科学技術連盟により創設



0系新幹線車軸軸受と軸箱カットモデル

※2 トライボロジー遺産: 科学と技術の発展に特に重要な貢献をしたとして日本トライボロジー学会により認定されたトライボロジー関連の技術や事物

キーワード 3 サービス

世界中のお客さまの課題に寄り添う姿勢は、きめ細やかなサービス体制の構築へとつながっています。1960年代から、お客さまが必要とする場所で生産・供給を行うグローバル体制をいち早く確立しました。2000年代以降は、専用ツールを搭載した「テクニカル・サービスカー」を活用し、世界各地の現場で技術講習会を開催するなどお客さまをサポートしています。また、軸受の状態監視・診断および高度な分析サービスにより、設備異常の早期検出や余寿命の推定を実現し、安定稼働と生産性向上に貢献することで、納入後の価値提供を強化しています。



世界各地でお客さまをサポートする「テクニカル・サービスカー」



風力発電装置用状態監視システム(CMS)

NTNの商品戦略

軸受の市場規模は約5兆円*と言われており、当社グループは総合軸受メーカーとして、さまざまな商品・サービスを提供しています。高い技術力と独自の開発体制およびサービス体制により、世界中のお客さまへ提供している当社グループの商品・サービスと付加価値を紹介します。

*2025年度日経シェア調査より

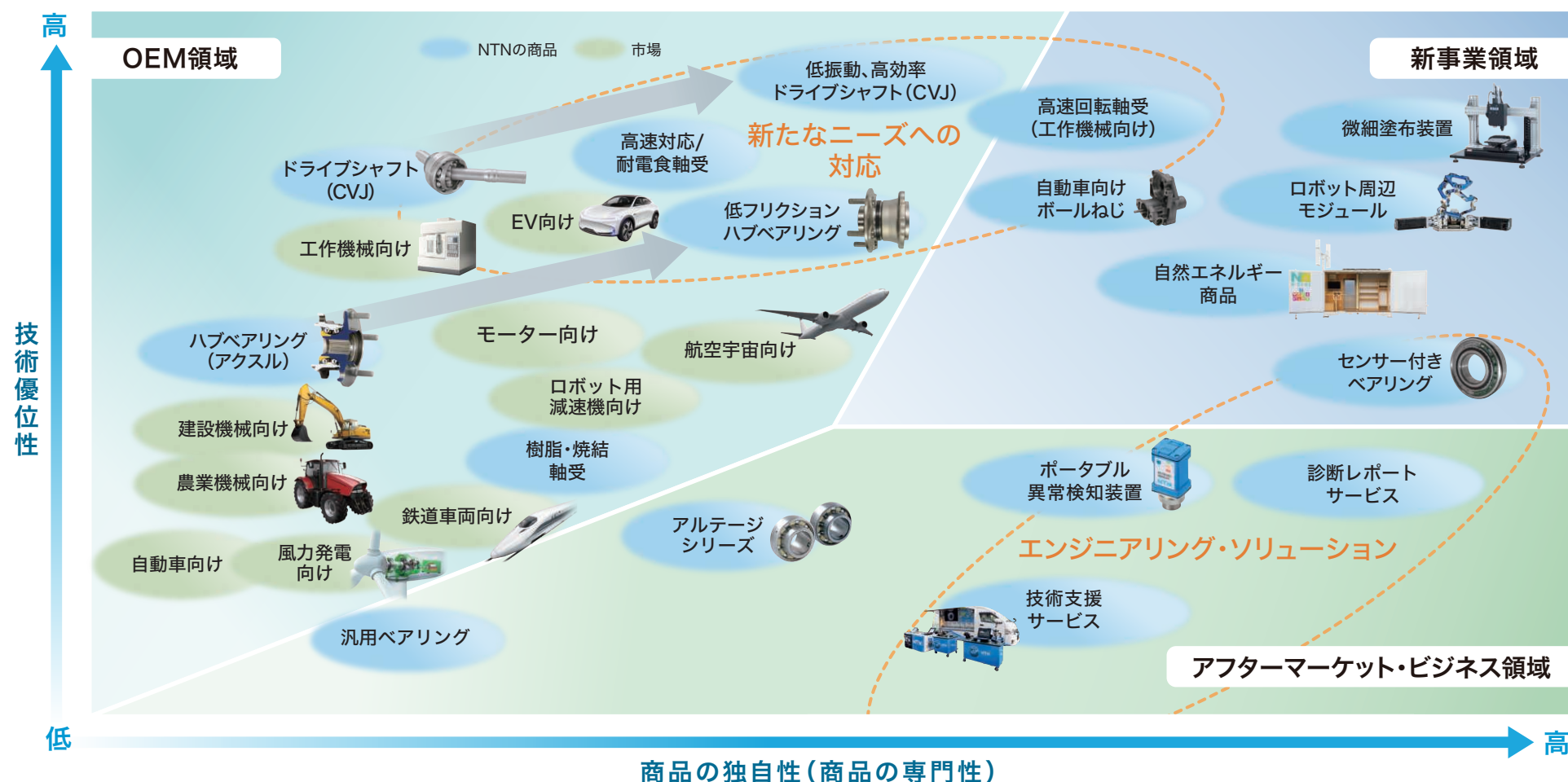
WEBサイトの関連情報

ベアリングって何？

ベアリング製造工程動画
「ベアリングができるまで」



OEM向けは自動車市場や産業機械市場の各業種のお客さまに多種多様な商品を納入しています。モビリティの電動化やカーボンニュートラルへの対応、AIやデジタル技術の高度化などの新たなニーズに対して、高度な技術を通じて、新しい商品・サービスを提供しています。
アフターマーケット向けはお客さまの機械や工場を止めない供給の即応性を高め、またお客さまの困りごとの解決に貢献しています。軸受診断や再生ビジネス、技術講習などのサービス、またセンサー付き軸受やNTNポータブル異常検知装置のようなモニタリング商品を通じて、専門性の高いエンジニアリング・ソリューションを提供しています。
新事業では電動化対応に向けたモビリティ・モジュールや省人化対応に向けたロボット周辺モジュールなど、今後の市場成長ポテンシャルが高い領域へ貢献しています。外部機関との連携などを通じて先端技術を取り込み、開発スピードを加速させ、新たなモジュール商品やシステム商品の開発を強化しています。



数字で見るNTN (2025年度)

At a Glance

